



所 管	水道環境部環境課		
担 当	近藤 貢一	問い合わせ	0573-26-2111 (内線 208)

報 道 機 関 各 位

## バック型コンポストによる生ごみ処理の実証実験の 実施について

市では、生ごみの排出削減の取り組みの一環として、市民モニターを募集し「バック型コンポスト」を無償貸与して、家庭から出る生ごみを堆肥化する実証試験を行いますので、お知らせします。

### 記

#### 1. 目 的

市では年間約 12,000 トンの可燃ごみを処理しており、市一般廃棄物処理基本計画で、令和 14 年度までに可燃ごみを約 9,100 トンまで削減することを目標としています。

廃棄物減量の取り組みとしては、資源回収拠点の設置やフードドライブに取り組んでいますが、ごみの組成調査の結果からは、生ごみが約 4 分の 1 を占めていることがわかっています。

昨年度から市の生ごみ堆肥化に向けて取り組みを始めましたが、さらに家庭内から出る生ごみを削減していくため、手軽に堆肥に変えることができる「バック型コンポスト」を使って実証実験を行います。

#### 2. 対象地域 大井町

※令和 5 年度に実施した市民アンケートでは、生ごみを可燃ごみとして排出している家庭が市全体で約 73 パーセント、地域別では大井町が約 88 パーセントと最も大きな割合を占めたため、大井町を選定

#### 3. 期 間 令和 5 年 11 月 6 日（月曜日）から令和 6 年 2 月 1 日（木曜日）

#### 4. モニター人員 約 50 人

※大井町 4 区の住民に自治会回覧文書で募集中

## 5. モニター説明会

- (1) 日 時 令和5年11月6日（月曜日）午後7時
- (2) 場 所 大井町自治会館（恵那市大井町 850-1）
- (3) 対象者 大井町4区のモニター希望者
- (4) みどころ 説明会で、モニターの方が実際にバッグに投入する場面を撮影いただけます

## 6. バック型コンポスト

- (1) サイズ 横約50センチ×高さ約35センチ
- (2) 利用方法 バックに付属の基材を入れ、基材に生ごみを混ぜ込む
- (3) 投入量・期間 1日約450グラムを投入すると、1.5カ月（45日）で適量となる（約20キログラムの生ごみが堆肥化）



## 7. 市民モニタースケジュール

- (1) 生ごみ投入期間  
令和5年11月6日（木曜日）から12月31日（日曜日）まで
- (2) 堆肥化熟成期間  
令和6年1月1日（月曜日）から1月31日（水曜日）まで
- (3) 堆肥回収日  
令和6年2月1日（木曜日）